



八中だより



令和元年6月4日 6月号
調布市立第八中学校
校長 佐藤 政彦

HP: <http://www.chofu-schools.jp/chofu8>

6月は定期考査・・・粘り強く・こつこつと・継続は力なり

校長 佐藤 政彦

今年度も2ヶ月が過ぎ、1年生も順調に学校生活を送っています。5月は、体育祭や修学旅行もあり、忙しい毎日でした。いよいよ6月は、待ちに待った定期考査です。今まで学習してきた成果を存分に発揮するときです。これまでの行事と同様に、粘り強くこつこつと取り組み、実りある3日間にしましょう。

人の記憶は、1日が過ぎると、覚えたことの半分は忘れてしまう、と言われていています。これはあくまでも、何にも脈絡みやくらくのない単語を覚えようとした場合です。ですが、脈絡の有無にかかわらず、次の日になると忘れてしまうことはたくさんあります。どうすれば10覚えたことを、次の日も10覚えていることができるのでしょうか。それが簡単にできれば、定期考査も少しは楽になるのですが、そう簡単にはいかず、やはり、暗記の王道は、繰り返し記憶をすることです。忘れたら、また記憶をする。この繰り返しです。

世の中には、膨大な量の情報を、写真のように映像として頭に取り込める人がいます。先日、ある会で、調布市長の長友貴樹氏のお話を聴く機会がありました。長友市長は、原稿を一切見ることなく、長時間に渡りお話しをされていました。誰もがその情報量と記憶力に驚かされていました。思い切って、長友市長に、「どのように暗記をされているのですか」と質問をしたところ、まさに、「映像として記憶をしている」とお答えをいただきました。すばらしい才能です。私のような凡人には、到底理解ができなことです。

記憶を定着させる方法として、繰り返し暗記する以外に、覚えようとするに、何らかの情報を付随ふずいさせ、記憶する方法があります。例えば、語呂合わせもそのひとつです。年号では、「いい国作ろう鎌倉幕府」、球の体積の公式は、「身の上に心配があーるので参上」、化学の元素記号は、「水兵リーベぼくの船」など、いくつもの語呂合わせがあります。また、英単語は、英文と一緒に覚えると記憶に残りやすいことや、歴史では、ただ単に年号を覚えるのではなく、その時代の人物や世相をイメージするとよいそうです。このように、覚えたい内容に様々な情報を付加し、脳に $+\alpha$ の刺激を与えることで、記憶が定着していくと言われていています。テストでも、ただ暗記するのではなく、「なぜそうなるのか」、「結果はどうなのか」など、思考の過程や結論を、言葉や式で表せることが大切です。

勉強法は、人それぞれですが、勉強の第一歩は、計画をしっかりと立てることです。テストの日から逆算して、いつまでに、なにを、どの程度学習するか、具体的に計画を立てましょう。**“学問に王道なし”**です。がんばってください。テストまであと13日!

6月は◇ふれあい月間◇

いじめを受けている人がいたら だれでもいいので相談をしてください

けっして ひとりでかかえこまないでください

先生たちも 一生懸命に 気がつくようにします 小さな合図でもいいので 教えてください

命を絶つようなことは 絶対にあってははいけません

あなたの命は みんなの命です あなたの命は かけがえのないものです

あなたの命は あなただけしか持つことができません